

KRP PRESS

2015.10 | Vol.143

特集 KRP-WEEK特集

Challenge

Excitement

ICT

Interaction

Universal

Startup

Virtual

Biotechnology

Awareness

Lightning Talk

Business

Incubation

Ecosystem

Tradition

Research

Experience

Innovation

Next Generation

Open Source

Creativity Kyoto

Craftwork

Workshop

Mixture

Globalism

Fashion

Life Science

KRP-WEEK 2015

PICK UP EVENTS REPORT

いま
KRP地区の現在が分かる！過去最多66イベントのハイライト



KRP-WEEK 2015 PICK UP EVENTS REPORT

ビジネスの新たな動きを探り、語り合い、発見していただくために、KRP地区を舞台に繰り広げる総合イベントKRP-WEEK。5回目となる今年は、「イノベーションの創出と交流の場づくり」をテーマに過去最多の66イベントを8日間にわたって開催し、約7,000人が来場した。海外で活躍する起業支援家を迎えて、新たな京都ベンチャーを生み出すためのエコシステムを考えるシンポジウムをはじめ、伝統産業を取り巻くクリエイティブワークの今と未来を見つめる展示やファッションショー、トークイベント、事業セミナーやICT講座など、ビジネスにつながるヒントやソースを多彩に発信。地区全体が約7,000人の来場者でにぎわったKRP-WEEK 2015のハイライトをレポートします。

KRP-WEEK 2015

PRE EVENT
8.1 SAT • 8.3 MON → 8.9 SUN

66
EVENTS
開催

主催:KRP(株) 後援:近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所
(公社)京都工業会、京都産業育成コンソーシアム、京都産学公連携機構

- 8.1**
 - Startup Japan Tour in KYOTO
 - 京(みやこ)サイバー犯罪対策シンポジウム(青少年編)
～スマホ時代に生きる青少年の情報モラルを考える～
 - KRP-WEEK 和装でおこしやす!(8/1、8/3～9)
 - かごの屋の人気メニューが家庭で簡単に出来る試食付きレシビ講習会
- 8.3**
 - 京都府中小企業技術センター 研究成果発表会
 - KRP-WEEKシンポジウム～世界は起業家を待っている!～
・基調講演「世界に羽ばたけ!サムライイノベーション!」
・特別講演「Lessons from Massachusetts about Growing Innovation Ecosystems」
～マサチューセッツ流イノベーションの起こし方～
 - ・パネルディスカッション「京都のエコシステムの明日を考える」
～世界の事例から～
 - 平和書店 TSUTAYA 京都リサーチパーク店 書籍販売
 - 京都バイオ計測センターシンポジウム
「健康管理のためのバイオ計測の展開」

- 京都インテベンデンツクラブ
- Welcome to Tech Kids!
～小学生向けプログラミング教育事業の可能性～
- KRP七夕まつり2015
- KRP交流DAY(8/3～7)
- パネル・ポスター展示(8/3～8)
・地球環境関西フォーラム「若者によるエコ・メッセージポスター」
・KRPサークル紹介
- パティオ・ランチスタンブラリー(8/3～7)
- KRPオフィス・ラボ見学会
- 液体窒素の実験と「天然ガス」について学ぼう
- 8.4**
 - ユニバーサルマナー検定3級 in 京都
Universal Manners Test in KRP-WEEK
 - 同志社ビジネススクールMBA公開講座「地球時代を事業創造で生き抜く」
 - 第37回 七本松落語会
 - ここでしか聞けない第一次産業のイロイロ話
 - 京都府中小企業技術センター 中技セン体感!ツアー
- 8.5**
 - 〜クリエイティブ・ショーケース〜
 - ・「ハリと京都を結ぶビジネスセミナー」
 - ・「和文化ファッションショー」
 - 組織で働く人の健康資産の運用をかんがえましょう。
 - 第6回 ライフサイエンス・ビジネスセミナー
ヘルスケア産業で世界市場を狙え!
 - 3D バーチャルリアリティ(VR) メガネ体験!
 - 酒蔵と日本酒のこれからを語る会 with ジビエ

- KRP町家スタジオ終日開放日「町家オープンデー(MOD)」(8/5、6)
- 京都府中小企業技術センター 施設見学ツアー(8/5、6)
夕暮れ★多 施設見学ツアー(8/5)

- 8.6**
 - モバイルアプリのセキュリティ～スマホからIoTまで～
 - KRPイノベーションクラブ 特別講座
・怒りの感情と上手に付き合う「アンガーマネジメント入門」
・グロービスセミナー「オンライン教育の潮流」
 - 京(みやこ)サイバー犯罪対策シンポジウム(企業編)
～誰でもわかる情報セキュリティを考える～
 - KRPワンコインナイト2.0<KRP-WEEK特別版>「海外ビジネスの展開」
 - Event Salon Kyoto vol.2

- 8.7**
 - オープンソースカンファレンス2015 Kansai@Kyoto
「テクノクラフトでコンピュータの原理を学ぼう」(8/7、8)
 - ビジネスシーンにおけるメイク&ヘアアレンジ
 - 京都産業大学 神山天文台における装置開発と人材育成:
補償光学装置の開発事例
 - 京都イノベーションベルト推進フォーラム
 - 技術やデザインの保護は戦略的に!
-商品開発・事業展開に活きる知財のまもりかた-
 - Kyoto.LT
 - Startup Weekend Kyoto(8/7～9)
 - 夏休み親子教室 古代火おこしにチャレンジ!
 - プロから学べる京の食文化!
 - 京の食文化ミュージアム・あじわい館主催教室「すし教室」
 - greenz Talk! @京都「ローカル・デザイン・ビジネス」

- 8.8**
 - 京都ラボフェス2015@産技研 ～夏休み ものづくり体験デー～
 - ネイルチップ☆ワークショップ～人気の水彩アート～
 - 京都学園大学 京野菜販売
 - DiGRA-K KRP-WEEK Presents スペシャルワークショップセミナー
徹底比較「Unreal4」&「Unity5」
 - 〜クリエイティブ・ショーケース〜
 - ・夏の京ロリ®:伝統のわざ 講座・体験II
「伝統の色」レクチャー/彩りのお試し会」
 - ・「琳派へのオマージュ」
 - ・京都職人工房@KRP:LIFE with KOGEI
「職人が語る「工芸」のこれから」
 - KRPスタンブラリー
 - 食育シンポジウム～食育は難しくない～
 - プロから学べる京の食文化!
京の食文化ミュージアム・あじわい館主催教室
「京の食文化の語り部による抹茶ミニ講座(試飲付)」「親子すし教室」
 - 京都市中央市場主催イベント「夏休み子ども市場見学会」「繁盛市」
- 8.9**
 - 夏休み親子料理教室「和食づくり」にチャレンジ!
 - プロから学べる京の食文化!
京の食文化ミュージアム・あじわい館主催教室「親子魚さばき方教室」
 - 地域公共政策士ネットワークRe:action KRP-WEEK 2015 企画
「地域公共人材を切り口に考える新しいライフデザインの形
—もし桃太郎さんが地域公共人材だったら」



【特別講演】

Lessons from Massachusetts about Growing Innovation Ecosystems

マサチューセッツ流イノベーションの起こし方

主催: JETRO 講師: Timothy Rowe 氏 Cambridge Innovation Center CEO

全米のイノベーション拠点でもあるマサチューセッツでは、イノベーションがいかに生み出されているのか。「ケンブリッジ・イノベーション・センター」のCEOである Rowe 氏が京都へ熱いメッセージを送った。

（講演要旨）

この30年アメリカ経済の成長はスタートアップ企業によってたらされ、起業を重視する理由もここにある。起業には①資金②アイデア③経営能力が必要だが、さらに重要なのはこれらを「混ぜる」こと。京都のアイデアは世界水準であり、これを活用することが必要だ。

CIICは世界最大のスタートアップ支援施設で、約1000のスタートアップ企業のほかグーグル、アマゾンなど大手企業が入居して、互いに刺激し合っている。KRP地区と同様の機能をもつ施設だが、入居者は多国籍だ。今やビジネスはグローバル化しているの、京都はもっと国際化することと、グーグルのような強い企業やS・ジョブズみたいな優れた経営者を呼び込むことが課題であると思う。そのためには、まち全体でイベントを数多く開催するなどしてイノベーションのインフラを整え、起業に向けた動きをつくり、世界の人にとって魅力的な都市にできれば、起業家を増やすことができるだろう。



PICK UP ① Symposium

KRP-WEEK シンポジウム

世界は起業家を待っている!

ゆるやかな景気回復のなかで、次なる成長を実現する起業家が待望されている今、海外を拠点に活躍する若き起業支援家が、ベンチャー魂を熱くメッセージ。故堀場雅夫氏が体現された京都のベンチャー魂をしのびつつ、KRPを拠点とする起業家育成のためのエコシステムについて展望した。

【基調講演】

世界に羽ばたけ! サムライイノベーター!

主催: KRP(株) 講師: 榎原健太郎氏(株)サムライイノベーター代表取締役CEO

8年前に起業支援の(株)サムライイノベーターを創業した榎原健太郎氏。現在、高起業率のイスラエルで、日本・イスラエル・世界の技術の架け橋役として活躍中だ。なぜ今イスラエルなのか。インキュベーターとしての経験談をふまえて、起業家を取り巻くエコシステムのあり方や起業支援への熱い思いを語っていただいた。

（講演要旨）

イスラエルというテロや紛争のイメージが強いが、実は親日で「第2のシリコンバレー」といわれる美しい国。人口1人当たりのベンチャー支援額が世界トップでナスダックの上場企業数は米国・中国に次いで第3位、グーグルなど大手テクノロジー企業が数多く進出している。世界市場にも近く、国全体がベンチャー精神にあふれていて、この国から学ぶべきものが多いと思われ海外の拠点にした。

創業して8年目の今、異業種交流イベント「サムライナイト」を現地で開催200回以上開催し、ベンチャー創出のためのコミュニティとして注目を集めている。現在ファンドは100社以上、投資先の時価総額は2000億円に上り、年内に60社に投資予定だ。

海外ビジネスに英語は必要だが、実は大の苦手とTOEICも365点程度。それでも海外で実績を重ね信用を得られたのは失敗を恐れず前へ進む、度胸とパッションのおかげ。

自分をオープンにし、誠実に真剣に勇気を持って、相手に飛び込んでしまえば何とかなる。要は「できるかどうか」ではなく、「やるかやらないか」だ。助けてもらったことには感謝を忘れず、礼を尽くした。そうすることで心が通じ合い、ビジネスが正しい方向へ動くきっかけも生まれた。入国して半年が経った頃、上空をミサイルが飛び交い、個人の力ではどうしようもない状況となり、へこむ時期もあった。そんな時でも「雇用を作って戦争を止める」というような目標をたて、それが新たなモチベーションとなり前へ進むことができ

た。イスラエルでは起業家の9割が2回以上の起業経験があり、40代で起業する人も多く、失敗を明日の糧にしている。日本では評価やリスクを重んじて失敗やリスクを恐れる。でっかい夢を持ち、その夢に向かって動いていると、きと何かが変わってくる。「Go action go online」で前へ踏みだしてほしい。今後の目標は5年間で100社に投資すること。それができれば世の中を少しは変えることが出来ると信じている。雇用を生み出すことで地域や社会に貢献していきたい。



【パネルディスカッション】

京都のエコシステムの明日を考えるー世界の事例からー

主催: JETRO
パネリスト: 榎原健太郎氏(株)サムライイノベーター代表取締役社長
ファシリテーター: 西本清一氏(地独)京都市産業技術研究所 理事長
(公財)京都高度技術研究所 理事長

西本清一氏をファシリテーターに迎え、京都の起業成功者の代表として辻理氏をパネリストに加えて、京都で新たな起業家を育成するためのエコシステム構築に向け、京都のポテンシャル、必要なインフラや条件などについて討論した。

起業支援家である榎原氏は「京都の素晴らしい文化のなかで好きな仕事ができるのは大きな魅力」とし、世界にアピールして有名企業を誘致すべきと提案。

Rowe氏は「起業がキャリアになるという文化を日本の大学に根づかせることが大切」とし、ベンチャー精神を育成する必要があるとした。

辻氏は、起業がゴールではなく、起業した後も故堀場雅夫氏の「面白おかしく」の精神で、起業家の育成やベンチャーキャピタルの設立などに取り組むのが京都の起業家の精神であるとした。

また三者から共通して、大学と連携して科学研究に堅実に投資するポストンモデルに倣って、京都モデルを確立すべしとの見解が示された。

西本氏は、一般のインフラ整備のように、京都の産学公が連携して起業の環境を整え、起業家を数多く養成して雇用を創出すべきという指摘が印象的で、京都のエコシステム構築の良いヒントになったと結んだ。



TOPICS: 関連イベント

Startup Japan Tour in KYOTO

主催: (株)サムライイノベーター
共催: さくらインターネット(株)、KRP(株)

(株)サムライイノベーターとさくらインターネット(株)が立ち上げ、地方7会場をまわる「Startup Japan Tour 2015」。この皮切りとなるイベントが8月1日開催された。基調講演には、ファミコン世代には懐かしい高橋名人が登場し、16連射のデモンストレーション等を行った。当時は振り返り、他にも多数いた名人の中での高橋名人だけが支持を得られたのかといった話は、スタートアップにとっても大変参考になる内容であった。その後、大企業セッション、スタートアップセッションでは関西の新潮流や大企業とスタートアップとのコラボレーションについてのパネルディスカッションが行われた。プログラムの締めくくりには、スタートアップピッチが行われ、京都発のサッカープレイヤー向けデバイス「BeGo 010」を開発する(株)アップパフォーマがグランプリを獲得した。



パリと京都を結ぶビジネスセミナー

主催 Terra Otta 講師 影山浩子氏 建築デザイナー

パリで建築デザインや舞台芸術を中心に活躍、日仏の文化交流に携わってきた影山浩子氏が、ポルトガル政府の協力を得て取り組むグローバル支援プロジェクトを紹介。良識にかなって生産・流通され地域支援や産業振興につながる「エシカル」ファッションを、モード史を踏まえて解説。有機コットンを素材にポルトガルの自然農法、コートジボワールでの栽培、

倉敷の紡績縫製技術を結んでジーンズを生産する、自身のエシカルプロジェクトを「各工程を担う一人ひとりの顔が見える」ビジネスと表現。取り組みの成果であるジーンズと京都の染め物とのコラボファッションがビデオ紹介された。会場には繊維・染色業者など30人近くが集まり、講演後はポルトガルの食材を使った軽食を楽しみながら交流を深めた。



琳派へのオマージュ

上田 バロン氏 × 河原 尚子氏によるトークショーと作品展示

主催：京都美術工芸大学

パネリスト：上田 バロン氏 イラストレーター 河原 尚子氏 sioneデザイナー

コーディネーター：安藤 真吾氏 京都美術工芸大学 教授

琳派400年記念祭のアート展「IMA RIMPA」のプレイベントとして開催。同展をプロデュースした安藤氏が琳派について紹介。絵画と陶芸との競作は、「神坂雪佳と清水六兵衛」など過去の琳派にも見られると、上田氏にイラストを、河原氏に陶磁器を依頼した経緯を明かした。上田氏は宗達の風神・雷神をモチーフに、デジタル技術で「Universo」地水風雷四季花鳥図」を制作。職人たちと協働し、デジタル画面では出しにくい金箔の素材感に挑戦したと語った。河原氏は「宗達が涅槃図から白象の絵柄を抜き出したように、作品の一番力強い部分である、足を切り抜いて器の絵柄とした」と自作のアートをひもといた。会場では上田氏と河原氏の出展作がひと足早く展示され、来場者の目を引いていた。



夏の京ロリ® 伝統のわざ 講座・体験Ⅱ

主催 KRP(株) 講師 石田 結実氏 上羽絵惣(株) 取締役

京都のロリイタスタイルを提案するプロジェクト「京ロリ®」。京の伝統にふれる講座・体験シリーズの第2弾講師は、宝暦元年創業、日本最古の絵具商上羽絵惣(株)の10代目、石田結実氏。江戸時代から260余年、職人による手作り製法で、1200色もの日本画用絵具を製造販売。2010年には絵具材料「胡粉(こふん)」を用いたネイルカラー「胡粉ネイル」を自社開発して話題となった。

石田氏は日本画用絵具に見られる伝統色について、京都の自然や文化のなかで見いだされ受け継がれてきた「京都の誇り」であると強調。センスよく個性を伝えるのに効果的で、心の栄養にもなると、古来の色が醸し出す魅力を熱く語った。参加者は「紫苑」「水浅黄」など、ゆかしい色名の胡粉ネイルを試しにつけ、伝統色ならではの和の色合いや、刺激臭のない「爪」に優しいネイル」を体験した。

和文化ファッションショー

主催 MIYA COLLECTION 学生実行委員会

「京都の文化とモダンカルチャーの融合」をテーマに活動する、MIYA COLLECTION 学生実行委員会によるエンターテイメントなファッションショー。企画運営から構成演出、制作のすべてを学生が担当し、和洋折衷のファッションで京都の伝統産業の真髄をより多くの若者に発信した。門川大作京都市長の発声のもと「MYお猪口」による日本酒で乾杯の後、ダンスと生け花パフォーマンスでショーが開幕。和服地を使ったシャツやワンピース、振袖、メンズきものから格姿、ウェディングドレスまで、学生モデルによる3つのステージを構成。動物愛護を呼びかける風呂敷バッグの紹介や美

容専門学生による浴衣姿のヘアセット実演のほか、MISS SAKÉ 京都代表の久田利江氏のトークショーなど、盛りだくさんな内容。京都三大学合同交響楽団による弦楽演奏が雰囲気盛り上げるなか、会場には陶芸、日本酒おにぎり、コーヒー、和菓子の有名店舗がブースを並べ、ステージの幕間に飲食タイムが設けられるなど、若者のアイデアと演出で京都らしさを随所に活かしたイベントとなった。会場は、ファッション関係者など約300人でにぎわい、学生たちによる多彩な演出のファッションショーを楽しんだ。



PICK UP ② Creativity

クリエイティブ・ショーケース

京都の知的資産(技・人材・知恵)を活用した取り組みが進められるなか、KRP-WEEK2015では、クリエイティブな活動から繋がり・拡がりを生むイベントを、「クリエイティブ・ショーケース」と題し開催しました。

主催：(地独)京都市産業技術研究所、KRP(株) 共催：MIYA COLLECTION 学生実行委員会、京都美術工芸大学、Terra Otta

京都職人工房@KRP: LIFE WITH KOGEI

職人が語る「工芸」のこれから

主催：京都職人工房@KRP
パネリスト 藤澤典史氏 金箔押・横田 武裕氏 型友禅
阪本 修氏 塗師・のむらり氏 京漆器・螺鈿職人
聞き手 米原 有二氏 工芸ジャーナリスト

京都職人工房メンバーから業種の異なる4人が、自らの道のりや、日々の思いを交えながら工芸の明日を語り合った。師匠のもとで17年間修業し独立した藤澤氏は、仏具業界以外の仕事はタブーだったが、ガンダム立体模型の箔押しや、京都職人工房で出会ったデザイナーとの協同製作で、仕事の世界が広がったとし、もっと異業種と交流していきたいと話した。IT業界で10年働き、結婚を契機に友禅職人になった横田氏は、新しい挑戦に対して意欲的。きものを着てくれる人を増やし、仕事も後継者も増やしていきたいと抱負を語った。指物師の家に生まれ、漆の魅力に引かれて輪島で勉強した塗師

の阪本氏は、まず同世代に漆が丈夫な天然材料であることを知ってもらいたいと、従来なかったカラフルな漆器を創作。「やめないで続けていけるか」が今後のテーマであるとした。また螺鈿の伝統工芸士を父にもち、その美しさに魅了されて後継者となったのむらり氏は、長い制作期間を経て、ようやく完成する螺鈿の魅力を理解してもらうためにも螺鈿を広めることが大切と、螺鈿でアクセサリーを創作。工房がある嵐山の立地を活かし、海外からの旅行者にもPRしたいと語った。最後に米原氏が「とにかくやめないで続けることが大切」と締めくくり、約60人の来場者も拍手でエールを送った。



PICK UP ④ Awareness

さまざまな分野で私たちに
「気づき」を与えてくれるイベント。

入居企業さま主催

組織で働く人の健康資産の運用をかんがえましょう。

主催：(株)アール・エム・アイ 後援：KRP(株)

従業員の安全と健康を組織の資産と位置づけ、ビジネスの成長にどのように運用し役立てるか。欠勤・休職による医療コストだけでなく、疲労や疾患など不健康な状態での勤務

による業務遂行能力および生産性の低下に伴うコストの大きさに注目。健康増進への資源投入はコスト削減のための投資であるという、新たな視点が浮き彫りになった。



入居企業さま主催

技術やデザインの保護は戦略的に！ 商品開発・事業展開に活きる知財のまもりかた

主催：辻丸国際特許事務所 協力：KRP(株)

知的財産を保護するための最大の武器となる、特許・意匠・商標の「権利化」。近年、知財に関するトラブルは複雑化し、一方で活用場面は多様化している。そうした背景のもと、

権利化だけでなく、コストや事業展開などに応じた戦略的な知財管理の重要性を説明。事業者には急務のテーマであり、質疑応答も随時活発に行われた。



京都府中小企業技術センター 研究成果発表会

主催：京都府中小企業技術センター、関西広域連合、京都府中小企業技術センター協力会

技術相談、依頼試験、機器貸付をはじめとする企業支援や、セミナーによる人材育成、研究開発や産学公連携の推進、技術情報の発信を主な業務とする同センター。企業の現場ニーズに即した課題から、未来を見据えたテーマまで、同センターの職員が取り組んだ成果を発表する「研究成果発表会」と、

来場者と発表者が熱心に質疑応答や意見交換をする「ポスターセッション&交流会」を行い、のべ92人が参加した。まずは同センターの業務を広く知ること、今後の連携等を検討するヒントにできる機会となった。



京(みやこ)サイバー犯罪対策シンポジウム 企業編 誰でもわかる情報セキュリティを考える

主催：京都府、京都市、京都府警察本部 後援：京都商工会議所、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、(公社)京都工業会、(公財)京都産業21、(公財)京都高度技術研究所、(一社)京都府情報産業協会、(公社)京都府防犯協会連合会、KRP(株)(順不同)

日本サイバー犯罪対策センター(JC3)の坂明理事による基調講演では、国レベルでの産学官連携のあり方と対策の方向性を提示。中小企業の被害事例を挙げながら府内の現状を紹介した京都府警の報告のほか、トレンドマイクロ(株)の

萩原健太氏、情報セキュリティ大学院大学の原田要之助教授も講演。参加者たちは、情報セキュリティ対策の重要性に理解を深めた。また、子どもたちを巡るネットトラブル等の問題について考える青少年編も別途開催された。



入居企業さま主催

モバイルアプリのセキュリティ スマホからIoTまで

主催：(株)DNPハイパーテック 協力：(公財)京都高度技術研究所、KRP(株)

ゲーム業界に実績のあるセキュリティ製品開発会社の担当者が、企業がアプリを提供する際の危険性と課題について解説。不正コピー対策セキュリティの解除、アプリのライセンス認証を改ざんする課金回避、スマートカーの不正コントロールなど Windows PC、スマホ、IoTの各分野における被害事例を紹介しながらの説明に、参加者たちはクラッキング攻撃の脅威と対策の重要性について理解を深めた。セミナー終了後には名刺交換会も行われ、活発な質問と歓談の場となった。



京都産業大学 神山天文台における 装置開発と人材育成 補償光学装置の開発事例

主催：京都産業大学 協力：KRP(株)

天文学の研究は理論・観測・装置開発の3本柱で成り立っている。口径1.3mの反射望遠鏡(荒木望遠鏡)を備える神山天文台では、望遠鏡に搭載する観測装置の開発も盛ん。講演では、大気のゆらぎによる天体のピンボケを補正する補償光学装置の開発を例に、産学が連携しながら、学生が主体となりより安価で小型の装置開発をめざす様子を紹介。即戦力として卒業生が期待されることへの理解が深まった。



PICK UP ③ Innovation

「イノベーション」を起こすためのヒントが見つかる・分かる
ビジネス最先端のシンポジウムやセミナー。

京都イノベーションベルト推進フォーラム

主催：京都産学公連携機構 共催：京都商工会議所、(公社)京都工業会、京都府、京都市

京都市域から関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)にかけては、中小・ベンチャー企業の支援機能を有する機関、大学、研究施設とともに、世界市場で活躍する企業が数多く集積している。この一帯を「京都イノベーションベルト」として、産学公が連携し、地域経済活性化のためのさまざまな取り組みを進めている。その強みや可能性を広く発信し、さらなるイノベーション創出につなげるため開催した本フォーラムは、会場も満席となり、注目度の高さがうかがえた。

基調講演では、京都大学の山口栄一教授が、京都イノベーションベルトとシリ

コンバレーなどのイノベーション都市を、広さ・大学数・文明都市としての歴史などの点で比較し、潜在能力は世界トップクラスと評価した。大学の最先端の「知」と「科学」をイノベーションに転換する政策の必要性を指摘し、京都イノベーションベルトへの期待感を明らかにした。

引き続き、地域内に立地する各機関による取り組み事例として、京大桂ベンチャープラザ、京都大学国際科学イノベーション棟、KRP、京都市成長産業創造センター、けいはんなオープンイノベーションセンターが、それぞれの施設の概要や活動、支援機能を紹介した。



京都バイオ計測センターシンポジウム 健康管理のためのバイオ計測の展開

主催：京都市、(公財)京都高度技術研究所、(地独)京都市産業技術研究所、バイオ計測・試業研究会 協賛：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、(一財)バイオインダストリー協会、(株)シーエムシー出版、立命館大学総合科学技術研究機構バイオメディカルデバイス研究センター

京都バイオ計測センターでは、国の健康・医療戦略や「次世代医療」「健康・福祉・介護」「地場資源活用」の3つの分野を柱に掲げた「京都市ライフイノベーション推進戦略」等を踏まえ、シンポジウムを開催。今回は、多くの異分野の産業も参入できる将来の「ウェアラブルヘ

ルスケア」への展開として、少子・高齢化と生活習慣病の増加を背景に、病気の予防と未病に焦点を絞り、健康管理のための分析技術の開発や、最先端の分析技術について発表。100人を超える参加者からは活発な質疑があり、盛況のうちに終了した。



第6回ライフサイエンス・ビジネスセミナー ヘルスケア産業で世界市場を狙え！ 併催 KRP 地区ライフサイエンス関連支援事業展示

主催：京都府、京都市、(公財)京都産業21、京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会 協力：KRP(株)

ヘルスケア関連市場は世界各国で極めて高い成長率を維持している。経済産業省商務情報政策局医療・福祉機器産業室の土屋博史室長は医療機器産業の動向や政策、国内外のネットワーク構築の大切さを講演し、JETRO 大阪本部の設楽隆裕幹事は海外展開する企業への支援サービス

と、戦略やマーケティングの大切さを説いた。また積極的に海外展開している(株)ジョブの尾花博也部長並びに福島県大越正弘室長から実践的な助言があり、聴講者の共感を呼んだ。併設展示でも熱心に質問する姿が目立ち大きなビジネスチャンスを与えさせる機会となった。



京都インデペンデンツクラブ

共催：(株)インディペンデンツ、KRP(株) 後援：日本ベンチャー学会、日本ニュービジネス協議会連合会、日本ベンチャーキャピタル協会



2社の事業計画発表の後、中信ベンチャーキャピタルの会長を務めた今村弘一氏から京都のベンチャー投資を振り返る記念講演が行われ、イベントの最後に7社のピッチが開催された。

オープンソースカンファレンス2015 Kansai@Kyoto

テクノクラフトでコンピュータの原理を学ぼう！

主催：オープンソースカンファレンス実行委員会 協力：KRP(株)



2日間で約1,150人が来場。会場では、今年のテーマと連動したローカルスタッフ有志による電子工作関連ブースが大きく設けられた。

同志社ビジネススクール MBA 公開講座 地球時代を事業創造で生き抜く

主催：同志社大学大学院ビジネス研究科(同志社ビジネススクール) 後援：KRP(株)



同志社ビジネススクールの教授陣による講演とパネルディスカッションが行われ、グローバルな事業環境について考察するなど、中小企業に役立つ事業創造のヒントとなった。

PICK UP ⑥ Experience

食育・美容・科学・伝統技術など多彩な分野の「体験」を通して
感動しスキルアップできる体験イベント。

食育WEEK KRP

食育シンポジウム 食育は難しくない

主催：大阪ガス(株)、京都府、きょうと食育ネットワーク
後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都市 協力：KRP(株)

「オテル・ドゥ・ミクニ」オーナーシェフの三國清三氏が「フレンチシェフが実践する食育」と題して基調講演。北海道増毛町出身の三國氏が料理人を目指したきっかけや、幼い頃故郷で食べたホヤが味覚の原点であること、帝国ホテルでの修業時代などを紹介しながら、食育とは「味覚の授業」であり、味覚は生活の中で習慣によって培われると説明。味覚のセンサー

である舌の味蕾（みらい）が完成する12才頃が、食育において最も重要とし、その時期に甘・苦・塩・酸・旨味の「五味」を味わって五感を養うことが人間形成に役立つと話した。後半は三國氏もパネリストに加わって「私が○○で次世代に伝えたい味」のタイトルで食育をめぐるパネルディスカッションが行われた。



京都ラボフェス2015@産技研 夏休みものづくり体験デー

主催：(地独)京都市産業技術研究所
共催：京都市産業観光局新産業振興室、京都ものづくり協力会

昨年引き続き、(地独)京都市産業技術研究所では、展示・実演・体験を通して京都のものづくり技術を知ってもらうため京都ラボフェス2015@産技研を開催した。

昨年を上回る781人の来場者に、普段は接することが少ない科学の魅力や伝統技能の素晴らしさを感じてもらえる場となった。



特に、世界初のフェルトパズルや紙と段ボールを使った遊具のコーナーを設けた会場では、小さなお子さまも楽しんでた。恒例の「漆の絵付け体験」のほか、どのコーナーも早々に満員となる盛況ぶり。



入居企業さま主催

ビジネスシーンにおけるメイク&ヘアアレンジ ネイルチップ☆ワークショップ人気の水彩アート

主催：Basic Laboratory 協力：KRP(株)

KRP-WEEKでは珍しい女性向けセミナー。「ビジネスシーンにおけるメイク&ヘアアレンジ」では、人事や社員教育を担当している参加者や、自分の支度に時間をかけられない参加者からの悩みに対し、現役美容師である講師の Basic Laboratory代表 内田純江氏が、ひとつひとつ丁寧に解説した。

と思われがちな高い位置のポニーテールや明るい色のアイシャドウ等も、落ち着いた色の洋服や、低いヒールの靴を選ぶだけで、全体的なバランスがとれることを紹介した。

また、「ネイルチップ☆ワークショップ」では、少し難易度の高い水彩アートのデザインをレクチャー。

親子連れの参加者も一生懸命に挑戦する姿が印象的だった。



入居企業さま主催

かごの屋の人気メニューが家庭で簡単に出来る試食付きレシピ講習会

主催：(株)KRフードサービス
協力：大阪ガス(株)、KRP(株)

和食・しゃぶしゃぶ「かごの屋」が、家庭で簡単にできる料理講習会を親子向けに初開催した。まずはじめに、かつお、まぐろ、さば、うるめいわし、めじかでとったそれぞれの「だし」の飲み比べを参加者で行い、油を使うことでおいしくするイタリアンやフレンチと違って、和食は「だし」を使うことでおいしくできることを紹介した。講習会では、京都の夏の食材を使った「ホウレンソウと人参のおひたし」「焼きなすのゴマクリームがけ」「はもと夏野菜のあんかけ」「黒豚のロールかつ」等、総料理長自ら計5品を実演し、親子20人の参加者は、「見て楽しい」「食べて楽しい」夏の料理を体験した。



Welcome to Tech Kids! 小学生向けプログラミング 教育事業の可能性

主催：京都府、京都市
京都クロスメディア・クリエイティブセンター(KCC)
KRP(株)

国家、経済の成長エンジンであるIT技術は、消費するだけでなく使いこなす「創造者」育成が急務。セミナーでは、デジタルのモノづくりを楽しく学べるプログラミングスクール「Tech Kids School」などを展開する(株)CA Tech Kidsの上野朝大代表が、プログラミング教育の重要性を紹介。スクールで学ぶ小学生による自作アプリのプレゼンも行われた。



PICK UP ⑤ Interaction

さまざまな「交流」を通じて共鳴し、新たな展開を生む
そんなキッカケをつくってくれる各種イベント。

KRPワンコインナイト2.0 (KRP-WEEK特別版) 海外ビジネスの展開

主催：KRP(株)
共催：京都大学デザインスクール(京都大学デザイン学大学院連携プログラム)
デザインイノベーションコンソーシアム

2か月に1度、入居企業から多彩なスピーカーを迎えている本イベント。通常の昼開催ではなく、夜に開催したWEEK特別版の今回は、今年事務所を開設したJETROの石原賢一 所長を迎え、駐在先であったシンガポールの日本企業の進出状況や

JETROの各種サービスを中心とした紹介が行われた。

懇親会では、参加者40人がアジア、ヨーロッパ等、19か国のビールを片手に、海外の雰囲気を楽しみながら盛り上がった。



KRP七夕まつり2015

主催：KRP(株)

8月3日の夕暮れより、コンコンキチン♪でお馴染みの祇園祭のお囃子(※1)とともに始まった真夏の交流会「KRP七夕まつり2015」。入居企業の皆さまとご家族、WEEKイベントの参加者など、およそ400人が集った。

「KRP交流 DAY」として、WEEK期間中パネル展示を行った入居企業

による会社紹介や、KRP地区で活動する趣味や勉強会のサークル(全15サークル)から活動紹介が行われるなど、交流を深めた会となった。また、浴衣姿の参加者も増え、「京の七夕協賛事業」の一環としても定着してきたことがうかがえた。



※1 奏者：放下鈴(ほうかほこ) 囃子方の皆さま

greenz Talk ! @京都「ローカル・デザイン・ビジネス」

主催：特定非営利活動法人 グリーنز 共催：KRP(株)

「greenz.jp」のプロデューサー 小野裕之氏が、ソーシャルデザインの担い手として京都を拠点に活躍する(株)オバケのプランナー松倉早星氏、(株)坂ノ途中の代表取締役小野邦彦氏をゲストにトーク。地域性や同時代

性にとらわれ過ぎることなく、自分たちが目指す理想やローカルのこと、デザインのことについて語った。3人に共通するのは、シンプルにユーザーの視点でものを見て、アウトプットする点。話題が尽きない2時間となった。



第37回 七本松落語会

主催：七本松落語会実行委員会
協賛：KRP(株)



Kyoto.LT

主催：Kyoto.LT 共催：KRP(株)



KRP地区で活動するIT系サークル「Kyoto.LT」が定例会を実施。ライトニングトーク形式の発表を7人が行った。

KRP交流DAY

主催：KRP(株)



KRP地区で活動する企業・団体(29組織)が、パネル展示による会社紹介を行った。自社サービスや企業情報をPRする場となった。

ここでしか聞けない 第一次産業のイロイロ話

主催：NPO法人おもしろ農業
共催：アグリイノベーション大学
協力：KRP(株)

「第一次産業って儲かるのか?」「地域活性化っていうけど、どんな問題があるのか?」第一次産業が抱える問題をテーマに、NPO法人おもしろ農業代表理事片桐新之介氏のファシリテートにより、生産者と消費者、都会の人と地方の人を「つなぐ人」の必要性について、議論が行われた。企業関係者、行政関係者だけでなく、農業従事者を増やすための活動をしている人など、多岐にわたる参加者がともに語り合う有意義な時間となった。



酒蔵と日本酒のこれからを 語る会with ジビエ

主催：町家でお酒を楽しむ会
共催：同志社大学大学院総合政策科学研究科
協力：(株)北川本家 協賛：KRP(株)

京都・伏見の老舗蔵元「北川本家」代表取締役社長の北川幸宏氏から、海外や若い人に日本酒の魅力、京都・伏見ブランドをどう高めているかの紹介があった。日本酒の試飲とともにを行うワークショップでは、「10年後の日本酒の楽しみ方は?」などのテーマにアイデアが飛び交う時間となった。猟師として獣害解消と鹿肉消費の両立を目指す同志社大学院兵田大和氏から試食付プレゼンもあり、ジビエの魅力を知ってもらう機会となった。



海外セミナー

フランス・京都経済フォーラム 「フランスと京都の経済交流の促進に向けて」

京都・フランスの双方向のビジネス交流促進を図るため、在日フランス商工会議所が京都外国企業誘致連絡会と共同で、「フランス・京都経済フォーラム」をKRP地区で開催。京都初開催となった今回のフォーラムでは、ティエリー・ダナ駐日フランス大使の挨拶に続き、京都・フランス双方の投資環境の紹介や、日本に拠点を置くフランス企業、並びにフランスと縁が深い京都企業計5社が幅広い視点から発表を行った。交流会では、フランス・ブルターニュ地方の名物であるガレットとシードルがふるまわれ、150人を超える参加者が活発な意見交換を行った。

日時:2015年6月17日 場所:KRP東地区1号館4階 サイエンスホール・AV会議室
主催:在日フランス商工会議所



海外セミナー

香港テクノロジーセミナー 2015 In “KYOTO”

香港貿易発展局は、アジアビジネスの拠点としての香港が持つ可能性をテーマにしたテクノロジーセミナーをKRP地区で開催。京都初開催となる本セミナーでは参加者が50人を超え、京都企業の関心の高さが伺えた。香港進出企業の事例紹介では、講師の一人としてKRP地区入居企業の(株)メディアウォーズ(KRP6号館) 代表取締役専務 今井寿人氏が登壇。中国大陸へ進出する日系企業向けのサービスを提供するにあたり、同社がデータセンターを香港に設置したことなどを紹介した。

日時:2015年7月3日 場所:KRP東地区1号館4階 AV会議室
主催:香港貿易発展局



国際商談会

(株)DNPハイパーテックが「ビジネスミーティング・アジアin Hanoi」に参加

KRP地区入居企業の(株)DNPハイパーテック(ASTEM棟)が、ベトナム・ハノイで開催されたアジアサイエンスパーク協会(ASPА)主催の国際商談会「ビジネスミーティング・アジアin Hanoi」に参加、ベトナム企業5社との商談を行った。本商談会は、ASPАがアジア各国で毎年開催しており、KRP地区では、2008、2010、2013年に実施。各国リサーチパークの推薦企業とホスト国企業との間で商談の場を提供している。

また同社は、ベトナム滞在期間中、現地企業や

JETROハノイ等とベトナムのセキュリティ市場やパートナー探索に関する意見交換を行った。同社顧問小川睦美氏は「実際にベトナムへ訪問することで、現地のビジネスの現状や考え方を学ぶことができた。KRPのスタッフが多くの現地企業との面談をアレンジしてくれたことに感謝している。」と語った。

KRP(株)では、ASPАをはじめとした独自のリサーチパーク・ネットワークを通じ、今後も海外進出を目指す企業の支援に注力する予定だ。

日時:2015年8月19日 場所:ホアラク・ハイテクパーク(HHTP:ベトナム・ハノイ郊外) 主催:ASPА、HHTP



INFORMATION

環境配慮へのご協力をお願い

KRP(株)では、環境問題への取り組みとして「KES ステップ2」の認証を受け、環境への影響を低減させる活動を継続しています。地域及び地球環境との調和の実現に向けて、省エネ、節水、廃棄物の分別・削減等、環境に対する負荷の低減に、皆さまのご配慮とご協力をお願いします。



●KESについて詳しくはコチラ

KES-環境マネジメントシステムスタンダード公式サイト
<http://www.keskyoto.org/kesinfo/>

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

配送 ①〒、住所 ②団体名 ③部署名 ④お名前 ⑤TEL/FAX ⑥メールアドレス ⑦「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨「配送停止希望」 **変更** ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.143
Oct
2015

KRP PRESS www.krp.co.jp/pub/index.html

○編集・発行/京都リサーチパーク株式会社
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地(ASTEM棟4階) TEL:(075)315-9333 FAX:(075)322-5348
○編集長/鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷/株式会社情通レゾナンス ○配送管理/有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信中 毎月第2・4火曜配信
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>

